

第3回新庄川橋架替事業設計施工検討委員会

令和7年8月28日(木)10:00～11:45
富山県防災危機管理センター 3F 研修室3-B

<結果（議事概要）>

委員からは主に以下のご意見をいただき、これらの意見を踏まえて見直しの作業を進め、事務局案がまとまった段階で第4回検討委員会を開催する。

○ 前回までの委員会の概要について

- ・ 下部構造は全て支持杭とし、摩擦杭と薄層支持杭は混在させず、上部構造を連続化する案が設計として妥当である。

○ 基礎形式と仮設工法の検討について

- ・ 基礎形式と仮設工法の組み合わせについては、「瀬替え工法による場所打ち杭基礎」で見直し検討を進める。
- ・ 根固め工の設置にあたっては、近接橋梁の場合、上流側の橋脚の洗堀影響が大きいことに留意すること。
- ・ 既設の道路橋・鉄道橋の近接部の施工に際しては、既設橋のモニタリングを実施すると良い。
- ・ 瀬替えの実施にあたっては、非出水期でも想定以上に河川の水位が高まった場合に備えて事前に資材等の退避計画を立てておくとともに、周囲の河川施設への影響を検討すること。

○ 今後の進め方について

- ・ 上部構造において、路面電車の軌道があることから、一般的な道路橋と断面の構成が異なる点に留意する必要がある。